

# 生きがい

URL(ホームページアドレス):<https://mikawa.yamagataren.org/>

第29号

令和2年7月発行

〒997-1301 東田川郡三川町  
大字横山字西田52-1

TEL 0235-66-5088  
FAX 0235-33-8029



▶ 6月15日(月)、引越作業を終えて、須藤理事長と菊池副理事長が、三川町公民館の玄関に新しい看板を掲げました。

季節の移り変わりは早く、小暑も過ぎ、22日には一年で最も暑い大暑を迎えます。しかし、連日の雨模様が続き、甚大な被害が出ている地方もあります。

当センターも昨今のウイルス感染防止対策により、施設管理業務等の面で大きな影響を受けましたが、その他はまず順調なスタートになつて

います。

表題のように、長年住み慣れた旧押切公民館より三川町公民館に事務所と倉庫が6月15日に移転し、16日より事務を開始しています。引っ越し作業は、事務局の事前準備もあり、順調に終えることができました。予想以上の荷物がありました。会員の皆様のご協力に感謝致します。

また、6月28日には2回目となる「庭木の手入れ・剪定講習

理事長 須 藤 栄 弘

## 事務所移転を新たな門出にして

### 全員の同意書をもとに 令和2年度スタート!

5月上旬、「新型コロナウイルス」の感染拡大が懸念されていたため、令和2年度定時総会は開催せず、「令和元年度決算書類の承認について」を提案事項、「令和元年度事業報告書」「令和2年度事業計画書」「令和2年度収支予算書」を報告事項として、会員の皆さん全員の同意

書を求めるごとに致しました。お陰様をもちまして、皆さんのご理解とご協力を得ることができ、厚く感謝を申し上げます。

安全就業の推進を基本項目の第一に掲げ、地域社会の期待と信頼に応える令和2年度の事業がスタートしています。引き続き、皆さんの絶大なるご協力をよろしくお願ひします。

会」を庄内青果市場地内で実施することができました。一般参加者18名の皆さんには、会員の協力のもと、和やかな実技講習になつたものと思思います。またの開催を、という声もありました。

新しい会員も少しずつ増えていますが、現在、全国的に会員拡大運動が展開されています。是非、会員の皆様からも更なるご理解とご協力をお願いします。

# 新しい仲間です どうぞよろしく！

令和2年2月から6月まで、新しく仲間に加わった皆さんです。どうぞよろしくお願いします。

加藤 陽子さん（押切下町）

成澤 恵美さん（押切下町）  
鈴木 上一さん（桜木町）  
佐藤 和雄さん（押切中町）  
石川 稔さん（袖東町）

## 「安全就業に関する標語」

### 今年度も募集中！

今年度も県シルバー連合会「安全就業に関する標語」を募集します。会員一人につき、応募は3編までOKです。連合会へ送付できるのは5編に限られるため、当センターで一次選考させていただきます。連合

会が二次選考として30編を選び、安全就業推進大会で表彰されるのは、最優秀1編、優秀2編、佳作5編となります。表彰の栄に浴するよう、皆を唸らす作品を、是非ともご応募ください。

# つロナにめげるな! 働く“力”と“和”がいちばん!

7/1(水)

管理員業務もスタート  
「テオトル」オープシン！



▲三川町の子育て交流施設「テオトル」が7月1日にオープンしました。同時に、施設の管理員業務を任されることになり、会員4名が交替で業務にあたっています。未来を担う子ども達の健やかな成長のために、シルバーもひと役お手伝いします！

6/5(金)

夏・秋を彩るキバナコスモス  
みかわ保育園で種まき



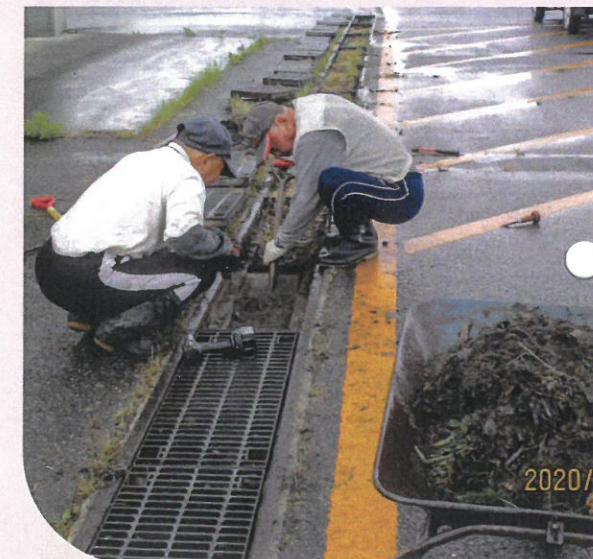
▲毎年恒例、みかわ保育園4歳の子ども達といっしょにキバナコスモスの種をまきました。作業の頃は、雨のない日が続いていましたので、種が芽を出して順調に育つよう、毎日たっぷり水やりすることを、子ども達と約束しました。

## 油断は禁物 「新型コロナウイルス」

「熱中症」にも注意！

6/20(土)

泥上げ作業に出動!  
車検場構内側溝の



▲車検場(庄内自動車検査登録事務所)の依頼を受けて、構内側溝の泥上げ作業と構内西側の樹木(桜)の枝払作業を行いました。お客様の依頼を受け、「即、実行」が“売り”です！



7月、山形県では2ヶ月ぶりに感染者が確認されました。東京都と近隣の県では再び感染の拡大が懸念されています。「新型コロナウイルス」の感染を防止するため、決して油断することなく、「新しい生活様式」を実践しましょう！

- ◎感染防止3つの基本
  - ①人との間隔は2m空ける。
  - ②外出時はマスクを着用する。
  - ③家に帰つたら必ず手や顔を洗う。
- ◎感染が確認されている地域への移動はできるだけ控える。

コロナ対策と同時に、「熱中症」対策も必要です。ポイントは：室内では、扇風機やエアコンで温度を調節。遮光カーテン、すだれ、打ち水を利用。

- ▼屋外では、日傘や帽子の着用。日陰の利用、こまめな休憩。
- ◎暑さを避ける
  - ◎こまめに水分を補給する
  - ▼室内でも、屋外でも、のどの渴きを感じなくとも、こまめに水分と塩分、スポーツドリンクを補給する。

5/19(火)

雨ニモマケズ  
アクロスプラザの草刈



▲(株)井上リース商事さんの依頼を受けて、年3回、アクロスプラザの草刈を行っています。あいにくの雨になりましたが、12名の作業員は雨ニモマケズ、風ニモマケズ、草を刈っては集めて処分する作業に、精を出しました。



## 令和2年度4~7月活動スナップ

# 今年も好評でした！

## 「庭木の手入れ・剪定講習会」



昨年に続いて、2回目となる「庭木の手入れ・剪定講習会」が6月28日（日）、公設庄内青果物地方卸売市場を会場にして行われました。参加者は三川町外の方も含めて18名。会員11名が講習の補助作業にあたりました。

開会セレモニーの後、まずシル

バーの仕事で使用している剪定の道具が紹介されました。チェンソーから動力・電気トリマー、剪定バサミ、剪定ノコギリまで、樹木に応じて使い分けることを学びました。

次に、参加者は「松の剪定」班と、「ツツジなどのトリマー」班の2班に分かれて、実際に作業をやりながら、分からることはすぐに聞きながら、一人ひとり庭木に応じた剪定方法を学びました。



▲開会セレモニーの後、剪定に必要な道具をまず覚えました。

▲「松の剪定は、松の樹形を見ながら…」  
参加者全員が松の剪定方法を学びました。

「松の剪定」は、松の樹形を見ながら、新しく伸びる芽を見極めながら、自分が思い描く形にしていくこと。「ツツジなどのトリマー作業」では、道具の使い方をしつかり覚え、こちらも全体の樹形を見ながら、思い切って刈り込んでくださいじょうぶ、とのことです。

休憩時には質問タイムとなり、「病害虫防除の適期」などが話題になりました。参加者の皆さんからは、「参加してよかったです」「庭木一本一本に剪定の方法があることがわかった」などの感想が寄せられました。こちらからは、「参加していただいてよかったです」「シルバーの会員になれば、毎日楽しい剪定の仕事ができますよ」と感じました。

（事務局・K）

### 編集後記

△令和2年1月、輝かしい新年を迎えて一転、「新型コロナウイルス」の感染拡大は全世界に広がり、今や感染者は1千355万人、死亡者は58万人を数えるまでになりました。△日本では4月7日、7都道府県に緊急事態宣言を発令して以来、封じ込めに成功したかに見えましたが、ここに来て感染第2波が懸念される状況になっています。

「ウイズコロナ」コロナと共に生きる時代が始まった。という専門家もいますが、どうも違和感を感じ得ません。△中止が決まった春のセンバツ高校野球。出場を決めていた高校は8月、甲子園で交流試合ができることになり、喜びに沸く球児達の姿を忘れることができません。町の子育て交流施設「テオトル」が7月1日にオープン。シルバーの事務所も町公民館に移設。世の中は喜と悲、樂と苦、明と暗、表と裏・・・できるだけ明るい話題を強調しながら、令和2年度の事業を進めていきたいと考えます。